

ハーマニー

No.
66

鮎貝地区まちづくり協議会

白鷹町大字鮎貝3994番地7 TEL 85-2342 / FAX 85-2341

令和2年9月15日

鮎貝地区にある 特色ある施設・組織の紹介

その4

白鷹町水道事業 津島台浄水場



津島台浄水場は、町内全域に安定した水道水を供給出来るようにと設置され、昭和48年より供用が開始されました。一日当たりの最大浄水能力は6,652^{リットル}、町内全体の配水量は年間平均約4,000^{リットル}で、ここではその内の約2,000^{リットル}、5割の飲料水が作られています。

また、配水区域は鮎貝、蚕桑、荒砥、十王、鷹山地区で、館山配水池のほか11箇所の配水池を経由して各家庭に送られています。

尚、導水量、配水量等により別水源からの水が供給されている地域もあります。

施設の管理は白鷹ウォーターサーピスに業務委託されており、6名の職員で交替しながら常時2人体制で24時間監視しています。

また、取水口の砂揚げや各施設周辺の草刈りなどの他、毎月のメーター検針なども行っています。

水道水がみなさんのお宅に届くまでの工程を次のページで紹介します。



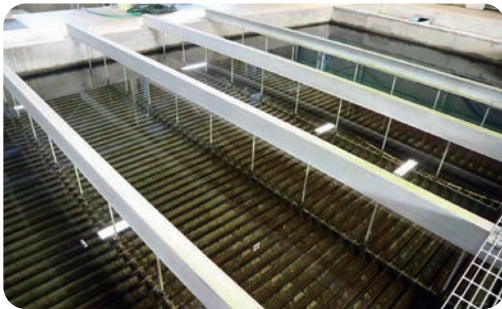
みなさんのご家庭に水道水が届くまで



【取水】町全体の約5割を占める水道水を実淵川から汲み上げ、浄水場へと送られています。



【凝集剤注入】汲み上げられた水に薬を混ぜて、細かな砂やごみが沈殿しやすくします。



【沈殿】何層にもわたる沈殿槽を通して、細かな砂やごみを沈めて取り除いていきます。



【ろ過】更に砂などでこしてきれいな水にします。



【送水】飲料水を浄水池から配水池(タンク)にポンプで送ります。



【滅菌】きれいになった水を塩素で消毒します。



【ご家庭】私たちが日常あたり前のように使っている水道水はこのようなして供給されています。水は無くてはならないもの。限りある資源を大切に使いたいものです。



【館山配水池】高岡地内の館山命水公園にある配水タンクから落差を利用して水压を掛け、配水管を通して各家庭に送られます。



地区の皆さんからの要望で設置している看板の確認と除草作業を行う環境保全部会の部会員

環境保全部会（樋口正美部会長）では、4月に地区内34か所に設置した「不法投棄やポイ捨て禁止」「犬のフン始末」の看板やその周辺の状況確認などを8月21日、担当の部会員4名で行いました。
 全箇所を回って確認しましたが、周辺にごみは無かったようです。
 看板の効果もあると思いますが、何より皆さんが意識されるようになってからではないでしょうか。

ごみ不法投棄防止看板の設置場所を巡回確認
 環境保全部会

ふれあい交流スクール グラウンドゴルフを開催します

ふれあい交流スクール（梅津一郎学級長）のスポーツ教室「グラウンドゴルフ」を開催致します。自粛等でのストレス発散や運動不足の解消にご参加ください。

日時 10月15日（木）

午前9時集合

場所 鮎貝スポーツ公園
 グラウンドゴルフコース

持ち物 飲み物や帽子等（熱中症対策に）
 ボール・スティック（お持ちの方）

申込み 10月5日までハーモニープラザか推進委員までお願いします。
 ハーモニープラザ85-2342

菜の花学級 健康教室を開催します

町内においてコロナ感染が出ていないことなどもあり、婦人対象の菜の花学級（江口京子学級長）の初めての事業を下記の通り開催しますのでご参加ください。

日時 10月6日（火）午前10時開会

場所 ハーモニープラザ ホール

内容 脳トレなどを含めた健康リズム体操
 健康を保つための保健師さんのお話
 （約1時間30分程度です）

申込み 10月1日までハーモニープラザか推進委員までお願いします。

その他 状況によっては中止となる場合もございますのでご了承ください。



運転適性を診断 安協鮎貝支部

長井地区交通安全協会鮎貝支部（宮澤康廣支部長）では8月5日、ハーモニープラザ前で県警察本部の運転適正診断車「ゆとり号」による講習会を開催。50代から70代の男女9名が受講されました。

ブレーキペダルを踏む反応の速さや、カーブでのハンドル操作の正確さなどを診断するものですが、実際の運転とは違って、なかなか難しかったようです。



心肺蘇生法を訓練 日赤わかあゆ会

わかあゆ会赤十字奉仕団（山口美智子委員長・団員23名）では8月2日、ハーモニープラザを会場に「一日赤十字デー」を実施。今年は、救命救急士の資格を持つ蒲澤忠義さん（柏原新田）と山口浩幸さん（黒鴨）の指導を受けて、AEDを使った心肺蘇生法の訓練を真剣に取り組んでいました。

八月十九日（水）、二期期の始業式を行いました。百四十一名の子供たちは、十一日間という短い夏休みを、大きな事故無く、怪我無く、しっかりと過ごすことができました。見守っていただいた保護者の皆様、地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

始業式の中で、子供たちに宿題として与えていた「命」に関わる話をしました。

「（前略）このあたりでもよく見かける「アブラゼミ」は、どのような一生を過ごすのか知っていますか。アブラゼミは、七月から八月にかけて、木の幹や枝に穴をあけて卵を産みます。その卵は冬を越して、次の年の六月頃に孵化します。孵化した幼虫は土の中に潜り、木の根っこから養分をとって、大きくなっていきます。土の中で一年ごとに脱皮をくり返し、ようやく七年目に地上に出て成虫になります。しかし、成虫になったゼミは、わずか一〜二週間しか生きることができません。その間、一生懸命に鳴いて、命を終えるのです。

これからは、夏から秋への移り変わりを確実に感じ取ることが出来ます。虫の鳴き声を例にすると、夏の間のセミの鳴き声に変わり、コオロギやキリギリスなどの秋の虫の涼やかな声が響き始めます。「一寸の虫にも五分の魂」ということわざがあるように、小さな虫たちも、一瞬一瞬を懸命に生きています。そんな命を、私たちはしっかりと感じ取りたいと思います。

さあ、2学期のスタートです。いのちの大切さを忘れること無く、そして、自分からあきらめることをしないで、前に進んでいきましょう。みなさんのさらなるがんばりに期待しています。」

感染症の全国的な拡大が続いています。新しい生活様式を踏まえ、児童と教職員が力を合わせてがんばります。よろしくお願いいたします。



～駐在所からのお知らせ～

運転に不安を感じたら**まずは相談！**

加齢に伴い視野障害や筋力の衰えなど、身体機能が低下すると運転操作のミスへとつながり、交通事故を引き起こす可能性が高まります。

高齢ドライバーや家族のみなさん、高齢や病気等で運転を続けることに不安を感じたらお電話ください。（平日の8：30～17:15）

安全運転相談ダイヤル

8080
シャープ ハ レ バ レ



白鷹西駐在所
佐藤正明 巡查部長
☎ 85-2029

駅伝競走大会は中止となりました

10月に開催予定の町誕生66周年記念地区対抗駅伝競走大会は中止となりました。

毎年ご協力いただいている選手と保護者の皆さん、スタッフの皆さん、応援していただいている地区の皆さん、また来年よろしくお願ひします。

コミセンまつりは
中止させていただきます

10月18日に開催予定の第6回コミセンまつりは、諸般の事情により中止させていただくことに致しましたのでご了承ください。

尚、来年からは名称などを変えて開催する予定です。ご理解とご協力をお願い致します。

これからの主な行事予定

10/ 6(火) 菜の花学級 健康教室
15(木) ふれあいグラウンドゴルフ